

## 1 教科の到達目標 (学習のねらい、身に付けたい力)

週4時間の希望制習熟度別「少人数クラス」を実施し、授業を行います。少人数を活かし、「数学の基礎学力の定着とよりきめ細かな指導」、「自分から進んで学習に打ち込む生徒の育成」を目指します。一人一人の生徒の実態に応じて、より細かな指導を行うことにより、全ての生徒が毎時間の授業で「わかった」という経験を実感できることを目指します。また、技能と共に、積極的に取り組み、自らの考えを表現する力を身に付けることも目標とします。年度当初は、昨年度までの結果を参考に希望を出してもらいクラス編成を行いました。今後は単元の終了毎およびテスト終了後に申し出があれば変更していきます。

## 2 年間学習計画と単元 (題材)

学期	月	題材名・単元名	内 容	達成目標 (ねらい)
1 学 期	4	1章 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開</li> <li>・因数、素数</li> <li>・素因数分解</li> <li>・因数分解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 展開や因数分解ができる。</li> <li>知 因数と素数の意味を理解する。</li> <li>思 式の計算を利用して、様々な性質を証明する。</li> </ul>
	5	1 多項式の計算		
		2 因数分解 3 式の計算の利用		
	6	2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平方根、ルート、<math>\sqrt{\quad}</math></li> <li>・有理数、無理数</li> <li>・分母の有理化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 平方根の意味と根号の使い方を知る。</li> <li>知 有理数と無理数の意味を知る。</li> <li>知 根号を含む式の計算ができる。</li> <li>思 平方根を用いて事象を考察することができる。</li> </ul>
1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 (定期考査)				
7	3章 二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次方程式</li> <li>・二次方程式の解</li> <li>・二次方程式を解く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 二次方程式とその解の意味を知る。</li> <li>知 様々な方程式が解ける。</li> <li>知 解の公式を知り、それを利用して方程式が解ける。</li> <li>思 二次方程式を利用し、問題を解決することができる</li> </ul>	
	1 二次方程式 2 二次方程式の利用			
2 学 期	9	4章 関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放物線</li> <li>・放物線の軸</li> <li>・放物線の頂点</li> <li>・変域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 <math>y = ax^2</math>で表される関数があることを知る。</li> <li>知 <math>y = ax^2</math>のグラフとその特徴、値の増減を知る。</li> <li>思 身のまわりにある関数 <math>y = ax^2</math> とかかわりの深い事象を考察することができる。</li> </ul>
		1 関数 $y = ax^2$ 2 関数の利用		
		5章 相似		
	1 相似な図形 2 平行線と線分の比 3 相似の利用 (定期考査)			
10	6章 円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角の定理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 円周角の意味を知る。</li> <li>思 円周角の定理を知り、利用することができる。</li> <li>思 円の性質を根拠とした証明ができる。</li> </ul>	
	1 円			
11	7章 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三平方の定理と証明</li> <li>・対角線の長さ</li> <li>・平面図形への利用</li> <li>・空間図形への利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 三平方の定理を理解し、証明ができる。</li> <li>知 三平方の定理を使って直角三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>思 三平方の定理を平面図形、空間図形に利用することができる。</li> </ul>	
	1 三平方の定理 (定期考査) 2 三平方の定理の利用			
3 学 期	1	8章 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査</li> <li>・標本調査の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 全数調査と標本調査の意味を知る。</li> </ul>
		1 母集団と標本		
	2	3年間の復習 (定期考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入試に合わせた問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知 三年間で学習した内容を理解し、活用できる。</li> </ul>
3				

### 3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の意味を理解している。</li> <li>・定理・公式を理解している。</li> <li>・例題の解き方を理解している。</li> <li>・定理・公式を用いて計算することができる。</li> <li>・例題の解き方をまねして計算することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・復習テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定理・公式を用いて説明することができる。</li> <li>・いろいろな解き方を考えることができる。</li> <li>・自分の考え方を発表することができる。</li> <li>・文章問題を解くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・復習テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の準備ができています。</li> <li>・提出物を提出できています。</li> <li>・問題を意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・粘り強く問題に取り組もうとしている。</li> <li>・積極的に課題解決、発表しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物</li> <li>・観察</li> <li>・授業の取組</li> <li>・小テスト</li> <li>・復習テスト</li> </ul>

#### 4 授業の取組についてのアドバイス

- ・積極的に自分の考えをみんなの前で発表していけるようにしましょう。失敗することを恐れずに、自分の考えを発表してください。授業での課題への取組方すべてが評価につながります。
- ・小テストも行っていきます。毎時間の授業の復習をしっかりと行ってください。
- ・レポートなどの課題を出します。しっかりと取り組み、提出をしてください。評価の対象となります。また、授業プリント、問題集の提出もしてもらいます。ただし、プリントに書き込むことに必死になってはいけません。話をしっかり聞くこと、課題に意欲的に取り組むことが大切です。課題解決、理解を深めるためにどのように工夫をしていたかを確認します。
- ・質問はいつでも受け付けます。積極的に質問をし、疑問を解決してください。

#### 5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・予習の必要はありません。復習を大切にしてください。授業が行われた日に必ず復習をしてください。問題集を購入していますので、授業の進行に合わせて進めてください。また、家庭学習用のノートをつくり、授業ノートを自分なりに作り直すと良いと思います。類題等を解いてノートに追加していくとより良いと思います。更に、1・2年生の復習も行っていきましょう。

#### 6 定期考査・単元テスト前の取組についてのアドバイス

- ・まず授業プリントを見直すこと。
- ・問題集で、できなかった問題をできるようになるまで取り組んでください。
- ・日々の努力が一番大切です。小さな積み重ねが大きな成果を生みます。

#### 7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・理解できないことがあれば、すぐに質問に来てください。後回しにしてはいけません。
- ・多くの問題に取り組む、慣れることが必要です。
- ・希望があれば定期的に放課後に勉強会を開きます。